



ひろしまたてものがたり



ひろしま建築学生 チャレンジコンペ 2023

設計テーマ

自然に集える
たまり場 集会所



対象建築物 県営向ヶ丘住宅集会所 (福山市水呑向丘101)

募集対象 建築を学ぶ学生
※全国の大学、大学院、高等専門学校等の建築関連学科に在籍する学生

賞および賞金等 賞金総額 100万円
●最優秀賞……1点 (賞状・賞金等) ●入選……2点 (賞状・賞金)
●優秀賞……2点 (賞状・賞金等) ●特別賞……数点 (賞状)



ひろしま建築学生チャレンジコンペ2023 審査結果

主催



広島県



総合資格学院



大旗連合建築設計株式会社
OH-HATA ARCHITECTS & PARTNERS

協賛



株式会社テクシード
RE:FACTORY

あなたの「夢」応援します

日建学院

TOTO

■武井誠委員長 講評 | (最終審査会での講評を抜粋)

皆さんお疲れ様でした。発表を聞いて、非常に白熱した議論を行うことができました。今回の対象は集会所ということで今までのトイレや消防団の屯所といった対象建築物とは異なり用途が明確に定まっておらず、配置も決まっていないというかなり自由な条件の中での提案は非常に難しかったと思います。見方を変えれば、建築の可能性をちょっとだけ切り開いていただいたような気もしています。今回の集会所は様々な使い方ができる多目的な場所であり、一方で誰かが何かをすると決められていない、いわば機能のない無目的な空間でもあります。そのような中で建築としての象徴性やこの地域にとって新しく建てられる建築はどうあるべきなのかというのを明確に提示した案が評価されたのかなと思います。最優秀賞に選ばれた作品が最たる例になりますが、決して建物の形ではなくて、その場所がどのように使われるか、また周辺環境が変化したとしても集会所としての骨格が変わらずあり続けられるかどうか、が設計のアイデアに求められているのだと感じました。また、今回の最終審査会で偶然にも広島県の大学のみなさんに発表していただいたこともあり、広島県という土地柄は、建築の新しい在り方がうまれる土壤があると、より強く感じました。非常にハイレベルな戦いだったと思います。発表された全ての案が非常に熱のこもった素晴らしいアイデアでした。本日はお疲れ様でした。

■審査委員会 |

審査委員長	武井 誠	建築家、株式会社 TNA 代表取締役、京都工芸繊維大学特任教授
審査委員	小松 隼人	建築家、株式会社小松隼人建築設計事務所代表取締役 広島工業大学非常勤講師
	高田 明秀	建築家、GRIND ARCHITECTS 主宰
	川島 満	広島県土木建築局建築技術担当部長
	奥野 功貴	広島県土木建築局住宅課長

■審査スケジュール |

◇応募登録申込期間：令和5年7月8日(土)～9月8日(木)

◇作品提出期間：令和5年9月9日(金)～9月15日(金)

◇一次審査：令和5年10月4日(水)

◇最終審査：令和5年11月18日(土) @叡啓大学 15階叡啓トップ

■審査過程 |

BEST-20	1次審査委員会の審査投票で選ばれた20作品
	… 全49作品を対象に、各委員が選定したい作品に投票し、1票以上獲得した作品 (各委員がそれぞれ10作品へ投票)
BEST-9	議論で選ばれた9作品
	… 20作品を対象に、委員の議論により選定した9作品
BEST-7	【入選・特別賞作品】1次審査を通過した5作品+特別賞を受賞した2作品
	… 9作品を対象に、委員の議論により選定した、 上位7作品
BEST-3	【優秀作品】最終審査委員会の審査過程で選ばれた3作品
	… 5作品を対象に、委員の投票・議論により選定した、上位3作品
BEST-1	【最優秀作品】最終審査委員会の審査過程で選ばれた最優秀作品
	… 3作品を対象に、委員の投票・議論により選定した作品

■最優秀作品 (BEST-1) |

037 | 宮本明輝、宮地栄吾、長野耀、北村太一 (近畿大学・大学院、広島工業大学大学院)



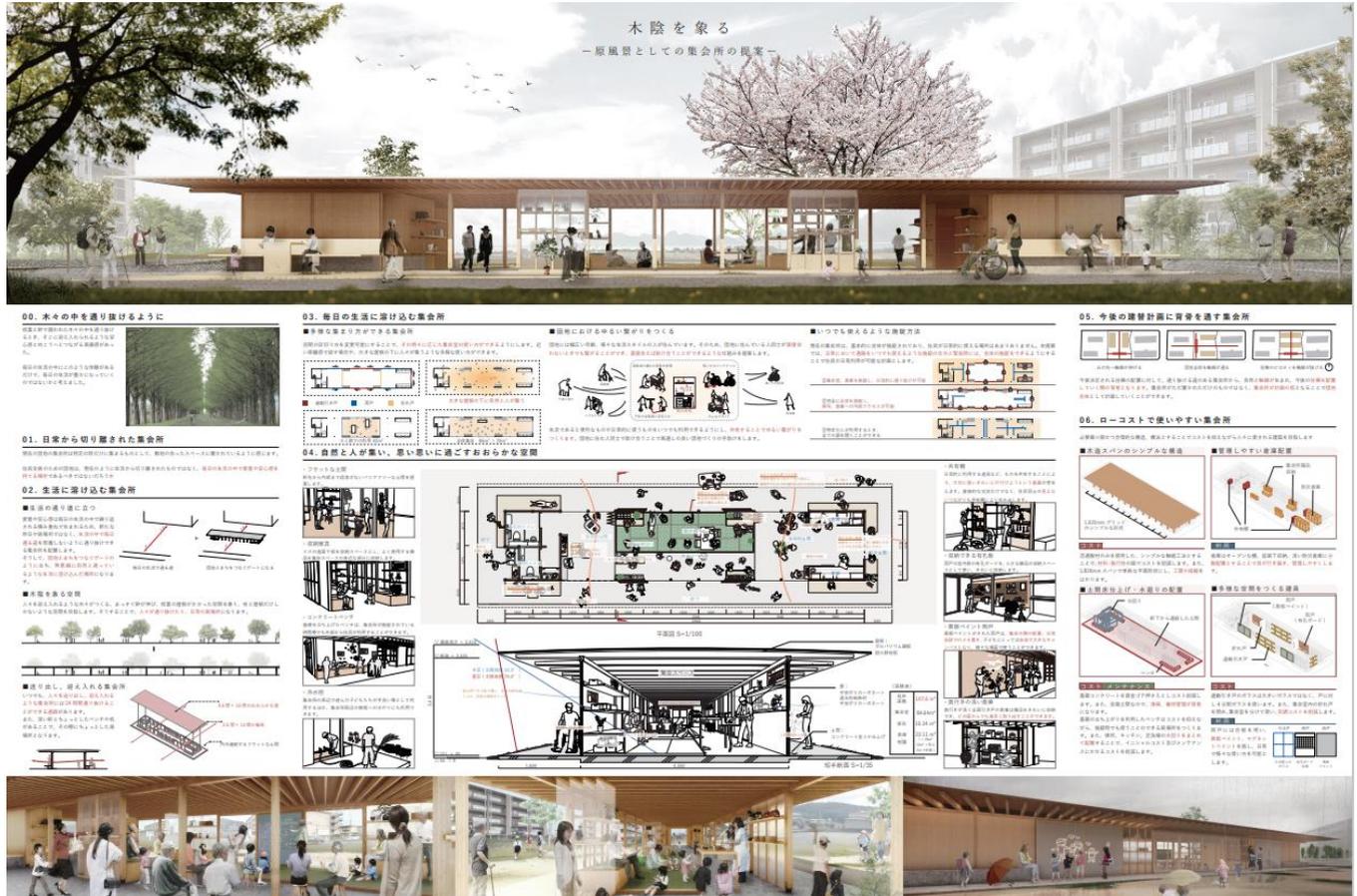
BEST-1	投票した審査委員 (最終審査最終投票)	武井、小松、高田、川島
BEST-3	投票した審査委員 (最終審査一次投票)	武井、小松、川島、奥野
BEST-7	委員の議論により選定	
BEST-14	投票した審査委員	武井、小松、高田、川島

委員コメント

5つのカベと五角形の形をした外観がシンボル性もありながら包み込むような親和性があり好感が持てる。多方向に視線を誘導する壁の作り方と内外に繋がる領域の作り方が非常に秀逸で、構造的に柔軟性がある点や、天井高さや機能をうまくリンクさせる点などの工夫が見られ、今後カベの伸ばし方によって使いやすさの発展が期待できる。

■ 優秀作品 (BEST-3) |

020 | 岡崎友洋、大呂直樹、沈子楡、松岡達哉 (広島大学・大学院)



	投票した審査委員 (最終審査最終投票)	-
BEST - 3	投票した審査委員 (最終審査一次投票)	小松、高田、奥野
BEST - 7	委員の議論により選定	武井、小松、高田、川島、奥野
BEST - 14	投票した審査委員	

委員コメント

- ・軒下の空間が広々と伸びやかで魅力的である。
- ・土間の連続性が気持ちよく、グリッドの区切り方にも工夫がみられる。

■ 優秀作品 (BEST-3) |

026 | 曾根大矢、粕谷しま乃 (近畿大学大学院)

止まり木から溜まり場へ

高齢者の人々の暮らしをより豊かにするために、高齢者が集える場所を創出する。それは「止まり木」(憩いの場)と「溜まり場」(集いの場)の両方を兼ね備えた場所を創出することである。

気軽に立ち寄るみんなの憩いの集会所

「止まり木」は、高齢者の人々の暮らしをより豊かにするために、高齢者が集える場所を創出する。それは「止まり木」(憩いの場)と「溜まり場」(集いの場)の両方を兼ね備えた場所を創出することである。

「止まり木」をつくる形

高齢者が集える場所を創出するために、高齢者が集える場所を創出する。それは「止まり木」(憩いの場)と「溜まり場」(集いの場)の両方を兼ね備えた場所を創出することである。

長居したくなるお観型の空間

高齢者が集える場所を創出するために、高齢者が集える場所を創出する。それは「止まり木」(憩いの場)と「溜まり場」(集いの場)の両方を兼ね備えた場所を創出することである。

止まり木が生む様々な集会所の使い方

高齢者が集える場所を創出するために、高齢者が集える場所を創出する。それは「止まり木」(憩いの場)と「溜まり場」(集いの場)の両方を兼ね備えた場所を創出することである。

026

	投票した審査委員 (最終審査最終投票)	奥野
BEST-3	投票した審査委員 (最終審査一次投票)	武井、小松、高田、川畠、奥野
BEST-7	委員の議論により選定	
BEST-14	投票した審査委員	武井、小松、高田、川畠、奥野

委員コメント
 配置的に表裏がなくどこに置いても機能しそう。土間がメインで縁側や中に土間にテーブルがあり座るスペースがあると高齢者の方にとっても使いやすく機能的である。

■ 入選作品 (BEST-7) |

019 | 小島宗也、熊谷翔大、有木壮太、藤本泰弥(近畿大学・大学院)

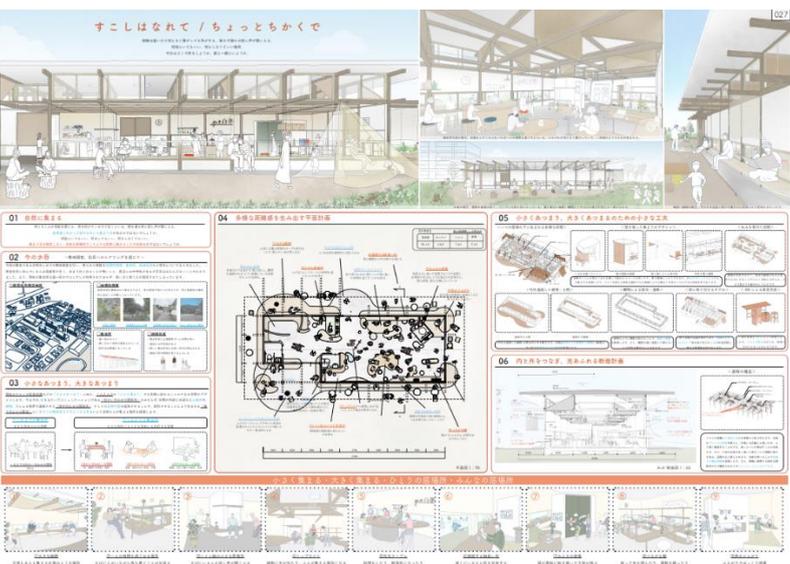


BEST-7	投票した審査委員 (最終審査一次投票) 委員の議論により選定	高田
BEST-14	投票した審査委員	武井、小松、 高田、川島、 奥野

委員コメント
 ・シンボリックでフレキシブルな空間づくりで、
 気配を感じることができる工夫がされている。
 ・人を惹きこむような内部プランが魅力的である。

■ 入選作品 (BEST-7) |

027 | 井上龍也、岡本一希、高尾耕太郎、谷卓思、隠崎嶺 (広島大学・大学院)

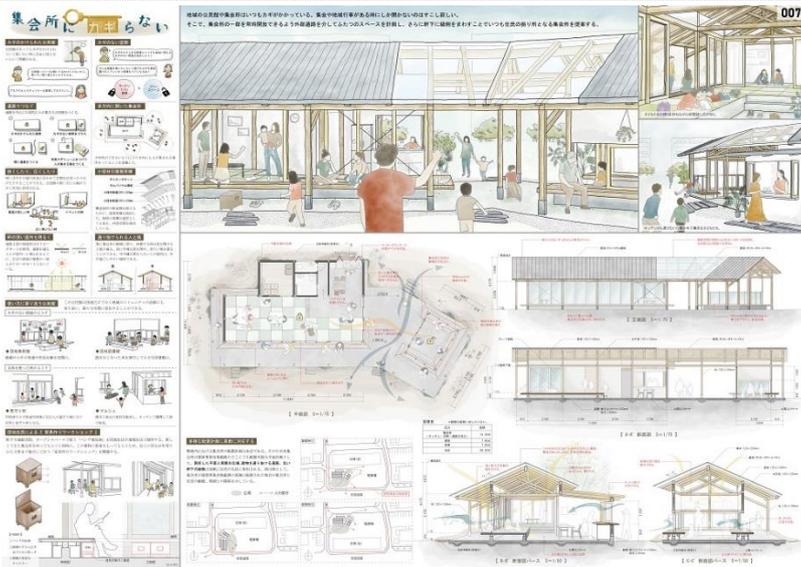


BEST-7	投票した審査委員 (最終審査一次投票) 委員の議論により選定	武井、川島
BEST-14	投票した審査委員	小松、高田、 川島、奥野

委員コメント
 ・様々なパーソナルスペースが散りばめられており
 人が集まる工夫が見られる。
 ・使い方に新しい可能性を感じた。

■ 審査委員長特別賞作品 (BEST-7) |

007 | 飯屋翔平、石川華菜子 (九州大学大学院、鹿児島大学大学院)



BEST-7 委員の議論により選定
BEST-14 投票した審査委員

小松、高田
川島

委員コメント

使い方、用途によって鍵のかける、かけないエリア分けを、土間空間を有効利用しながら分けている点や、ソフトな点や細かいディテールまで提案されている点がよかった。

■ 審査委員長特別賞作品 (BEST-7) |

024 | 福原直也、福士若葉 (法政大学大学院)



BEST-7 委員の議論により選定
BEST-14 投票した審査委員

武井、小松、
高田、川島

委員コメント

通り庭で屋外と屋内を繋げている点が独創的。いろんなことを想定して考えながら、スケール感や内外の連続性が心地よい。

■応募作品 (BEST-9) |

009 | 三牧 莉子、入江 美帆 (奈良女子大学)



BEST-9

投票した審査委員

武井、小松、
奥野

委員コメント

○今後の可変性に対応できそうなプランニング、真ん中に大きなスペースがあるプランの中でも、まとまりがあってよかったが、独特なカラーや雰囲気などひねりがあるとさらによかったのではないかな。

■応募作品 (BEST-9) |

055 | 安井 太一 (広島工業大学)



BEST-9

投票した審査委員

奥野

委員コメント

○動線的に使い勝手が十分かどうか懸念はあるが、オーソドックスな形ながら部屋が小分けにされているなど、集会所に求められている機能として実用性を特に感じた。

■応募作品 (BEST-20) |

010 | 松井 捺湖 (安田女子大学)



BEST-20

投票した審査委員

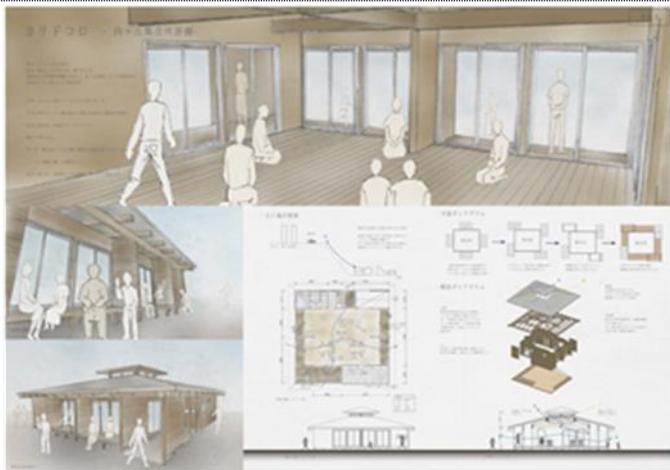
高田

委員コメント

○一番強烈さがあり印象に残った。平面計画やコストについてもっと考えられているとさらに良いと感じた。

■応募作品 (BEST-20) |

021 | 片山 志乃、太田 実里、小出 智香、田中 日菜 (岡山県立大学・大学院)



BEST-20 投票した審査委員 奥野

委員コメント

○シンプルだが使い勝手が良さそうで工夫がみられる。

■応募作品 (BEST-20) |

023 | 山本 充、芝氏 大輝 (京都工芸繊維大学大学院)



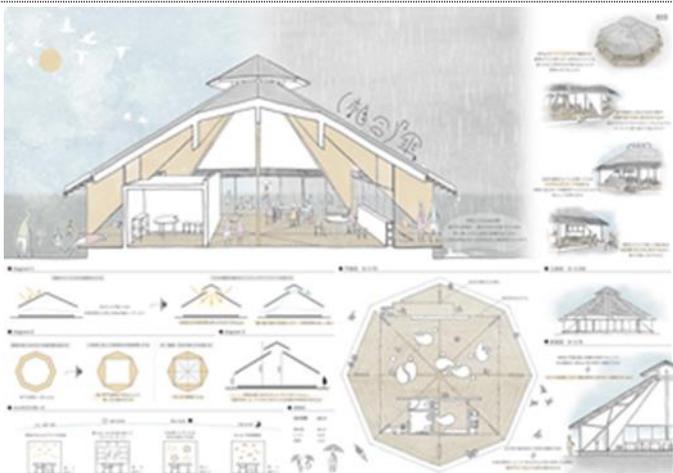
BEST-20 投票した審査委員 高田

委員コメント

○数少ない塔の提案で、印象に残った。二重に壁があり閉鎖性が強いと感じたが、塔の作り方を変えたらもっと面白くなるのではと思った。

■応募作品 (BEST-20) |

033 | 五味 美月、渡辺 珠羽、岡田 結菜 (岡山県立大学)



BEST-20 投票した審査委員 小松

委員コメント

○屋根形状と平面形状のずれによって生まれる軒下空間はよい。内部の使い方にもう少し多様性がほしい。105 角の細い流通材を用いるのであれば部分的に現してもよいと思った。

■応募作品 (BEST-20) |

034 | 河村 南、剣持 信彦 (岡山県立大学)



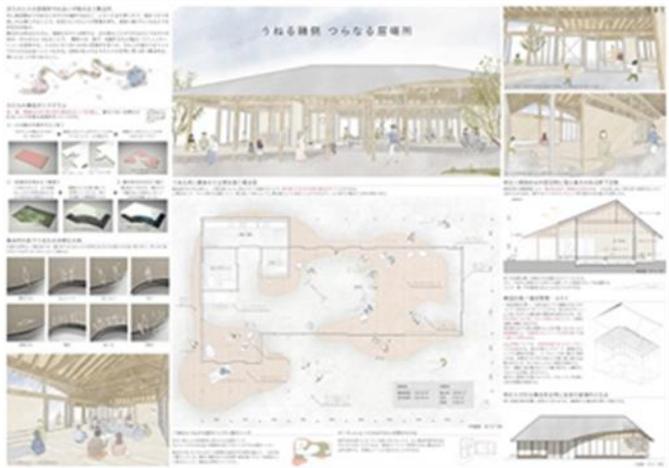
BEST-20 投票した審査委員 奥野

委員コメント

○立面の形状が敷地に合うのかどうかという点は気になったが、平面計画は使い勝手などをよく考えられていた。

■応募作品 (BEST-20) |

041 | 吉井 綾美、古賀 里梨 (北九州市立大学大学院・九州大学大学院)



BEST-20 投票した審査委員 高田

委員コメント

○縁側が特徴的な形をしたデザイン。コンセプトがはっきりしているなと感じた。屋根の施工性については疑問があった。

■応募作品 (BEST-20) |

042 | 久保 早智、裏崎 ほの香 (島根大学)



BEST-20 投票した審査委員 奥野

委員コメント

○シンプルで現実性、実現性がある作品。

■応募作品 (BEST-20) |

051 | 山本 千結、山田 誠人、瀬戸 裕樹、塚村 遼也 (広島大学・大学院)



BEST-20	投票した審査委員	武井、川島
---------	----------	-------

委員コメント
 ○現地調査が細かく行われ、この場所がどういった位置付けかきちんと読み解いている。
 建物は非常にシンプルだが、全体に一生懸命さが伝わってきて、好感が非常に持てる。

■応募作品 (BEST-20) |

053 | 八杉 凪咲、岡野 匠馬 (岡山県立大学)



BEST-20	投票した審査委員	奥野
---------	----------	----

委員コメント
 ○使い勝手の観点から上位としたが、立面的にどのような建物になるのかイメージできる表現があると良かった。

■応募作品 (BEST-20) |

057 | 劉 文彪、松井 優磨 (早稲田大学大学院)



BEST-20	投票した審査委員	川島
---------	----------	----

委員コメント
 ○外部にトイレがあったり、きになる点はあるが、気持ちよさそうな空間だと感じた。

■ 応募作品 (BEST-20) |

058 | 大町 有香子、北野 勇也 (京都工芸繊維大学・大学院)



BEST-20

投票した審査委員

小松、川島

委員コメント

○円形という提案はあまりなく、どこに置いても表裏のなく良い。構造に関するコストの考え方や外部の繋がりについて考えがあると良かった。

■ 応募作品 |

001 | 森下 大成 (大同大学大学院)



■ 応募作品 |

002 | 大原 萌里 (穴吹デザイン専門学校)



■ 応募作品 |

004 | 有賀 菜月 (東京テクニカルカレッジ)



■ 応募作品 |

006 | 半田 夢、井戸 莉花、夕川 奈々 (安田女子大学)



■ 応募作品 |

008 | 高橋 仁志 (山口大学)



■ 応募作品 |

011 | 小幡 咲季、土居 秋穂、山本 恵愛、田守 希花、佐藤 峰里 (広島大学)



■ 応募作品 |

012 | 藤岡 航 (神戸芸術工科大学大学院)



■ 応募作品 |

016 | 平田 雛子 (兵庫県立大学)



■ 応募作品 |

018 | 柿坂 香菜、前田 夏海 (北九州市立大学大学院)



■ 応募作品 |

022 | 岡崎 輝一、森本 龍 (立命館大学大学院)



■ 応募作品 |

028 | 坂上 実咲、松田 季南里 (安田女子大学)



■ 応募作品 |

029 | 藤岡 拓志、齋藤 英史、河瀬 穂空、平岡 龍、織田 怜津、
下山 廉太、木塚 未桜 (福山大学)



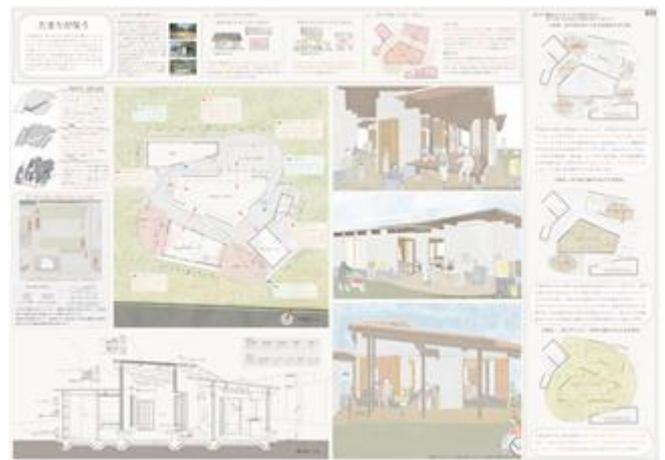
■ 応募作品 |

030 | 与那嶺 愛 (専修学校パシフィックテクノカレッジ)



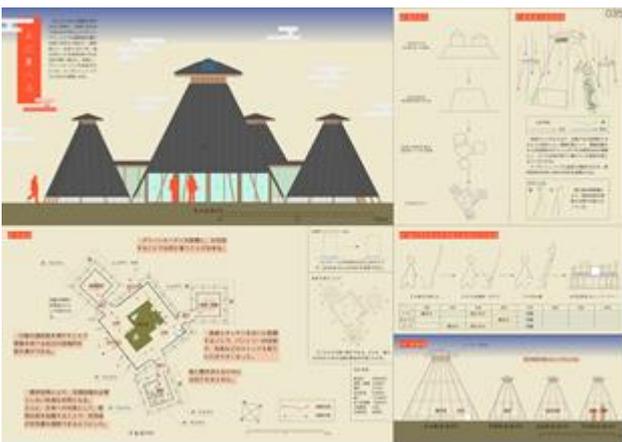
■ 応募作品 |

031 | 谷口 愛理、灰野 泰示、松本 茜
(京都工芸繊維大学大学院)



■ 応募作品 |

035 | 鎌田 蓮人 (大同大学)



■ 応募作品 |

036 | 上田 実佳、馬場 美悠、佐藤 真亜子、小幡 玲
(北九州市立大学)



■ 応募作品 |

040 | 竹島 瑠唯、荒山 和輝、大家 慧士郎、山口 泰知
(京都工芸繊維大学)



■ 応募作品 |

043 | 濱崎 礼菜、網島 雄真、佐藤 更彩 (広島大学)



■ 応募作品 |

044 | 藤葉 希依、黒田 日向子、小西 美海、満田 晴香
(広島工業大学)



■ 応募作品 |

045 | 黒沼 和宏、高塚 惇矢 (横浜国立大学)



■ 応募作品 |

046 | 尾崎 龍樹、菅野 壮汰 (横浜国立大学)



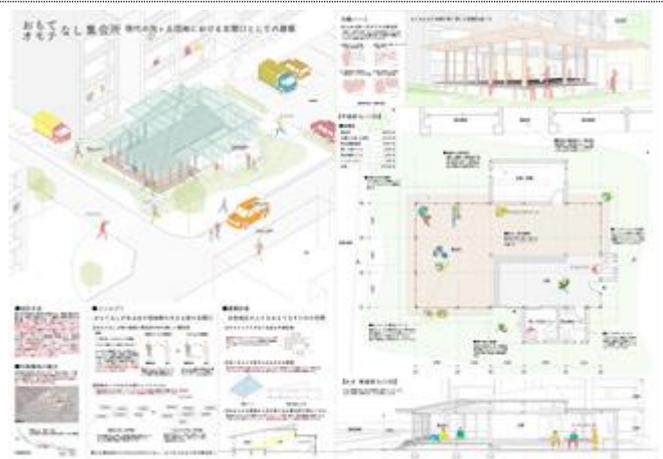
■ 応募作品 |

048 | 佐藤 秀弥、城本 大暉 (広島大学・大学院)



■ 応募作品 |

49 | 河村 悠太 (横浜国立大学大学院)



■ 応募作品 |

052 | 大土井 彪、伊藤 暢浩、加茂 優 (福山大学)



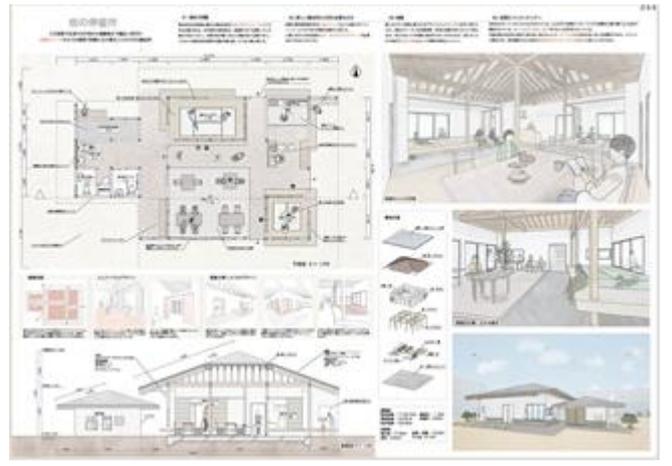
■応募作品 |

054 | 萬家 隆介、柳瀬 裕希 (広島大学・広島工業大学)



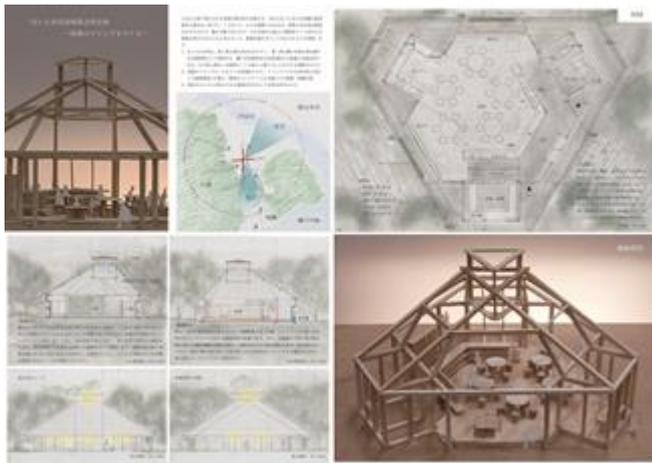
■応募作品 |

056 | 川上 翔平、栗原 遥任 (広島工業大学)



■応募作品 |

059 | 川岡 聖夏 (岡山県立大学大学院)



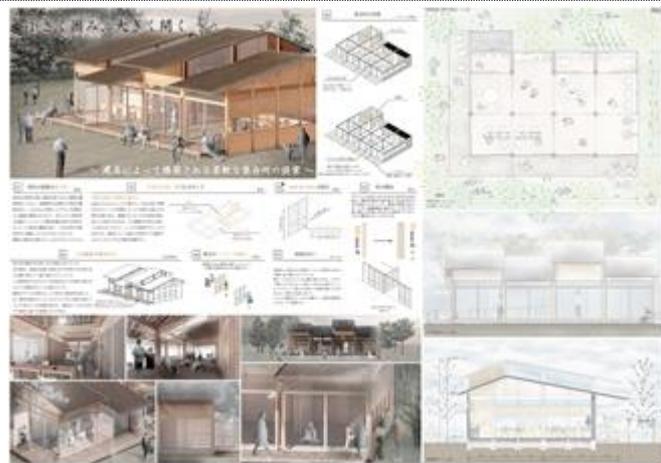
■応募作品 |

060 | 長崎 裕希、横畠 未来 (穴吹デザイン専門学校)



■応募作品 |

062 | 藍野 友輝 (日本大学)



たくさんの作品のご提出, 誠にありがとうございました!